



公立宍粟総合病院

地域連携室だより

当院の理念

＜私たちは地域の皆様から信頼され親しまれる病院を目指します。＞

基本方針

- ①良質の医療 ②地域医療 ③医療安全
- ④相互連携 ⑤患者サービス ⑥チーム医療



公立宍粟総合病院 地域連携室

TEL：0790-62-2425（直通）

FAX：0790-62-2522

病院ホームページ：http://www.shiso-hp.jp

業務時間：平日 8時30分～17時

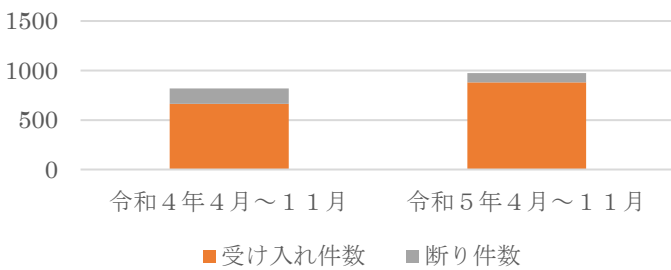


関係各位

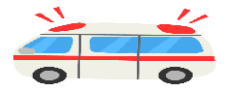
新年あけましておめでとうございます。旧年中は、格別のご支援を賜わりありがとうございました。本年も、職員一同地域の中核病院としての自覚を持ち、一層の努力をして参りますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。1月号を作成いたしましたのでご高覧ください。

当院の取り組み紹介

救急の受け入れと断り件数(件)



受け入れ状況は、令和5年度は令和4年度より216件増加。断り件数は59人減少している。



令和5年度の断りの理由としては、約4割が「専門外」であり、その他の理由は救急患者対応中などである。傷病別では重症が1割未満、それ以外は中等度から軽症レベルとなっている。

また、時間帯は時間外が6割、曜日は約6割が平日となっている。積極的に救急の受け入れに取り組んでおりますので、引き続き、ご紹介をよろしくお願い致します。

診療部から：外科より



当院外科では胃癌、大腸癌、胆嚢炎、虫垂炎などの消化器外科を中心とし、ヘルニア、下肢静脈瘤、CVポート造設などの一般外科も行っております。また、乳癌についても神戸大学乳腺外科と月に1回ビデオカンファレンスを行いながら手術や化学療法、ホルモン療法を行っています。胃癌の手術件数はピロリ除菌により年々減少しておりますが、大腸癌については食の欧米化により全国的にも増加しています。

最近ではコロナ禍の受診控えの影響か、初診の時点で腸閉塞となっている大腸癌が多くなっています。腸閉塞となった大腸癌は内視鏡下でステントを留置して十分な減圧を行い、手術を行います。十分な術前検査ができないこともあるため、閉塞するまでに発見することが重要となります。便潜血検査を積極的に行っていただき、大腸カメラの紹介をいただけますと幸いです。

高齢化が進んでいる影響か、ここ数年直腸脱の相談が増加しています。当院では昔ながらの経会陰手術だけでなく、全身麻酔可能な患者には再発率の低い腹腔鏡での術式も導入しております。元気な高齢者が多い宍粟市にはぴったりの術式と言えるでしょう。

その他、外科部長の衣笠はNSTのリーダーとして術後栄養障害や、褥瘡を有する入院患者の栄養に関する諸問題に助言を行い、早期退院を目指して活躍しています。



外科 服部 航士